

医療法人あかね会 土谷総合病院

臨床研修医研修プログラム

医療法人あかね会 土谷総合病院

〒730-8655

広島県広島市中区中島町3番30号

TEL (082) 243-9191

(目 次)

- I. プログラムの名称
- II. プログラムの目的と特徴
- III. プログラム指導者と参加施設
- IV. プログラムとその管理運営
- V. 定員
- VI. 研修カリキュラム
- VII. 研修医評価方法
- VIII. プログラム修了の認定
- IX. プログラム修了後のコース
- X. 研修医の処遇
- X I. 資料請求先

(別 紙)

- ・ 臨床研修カリキュラム

I. プログラムの名称

医療法人あかね会 土谷総合病院 臨床研修医研修プログラム

II. プログラムの目的と特徴

卒後臨床研修目標においては、以下の通り「期待される医師像」が示されている。

- ・ 生涯教育を受ける習慣・態度
- ・ 科学的妥当性・探求能力
- ・ 高い論理観と豊かな人間性
- ・ 社会発展に貢献する使命感と責任感
- ・ 自己の能力の限界を自覚し、他の専門職と連携する能力
- ・ チーム医療のコーディネーターとしての機能
- ・ 後輩の医師に対し指導できる能力
- ・ 地域の指導的役割を果たす能力

土谷総合病院における初期臨床研修の目的は、これらの点に関し、さらに高いレベルに到達すべく医師が自己を研鑽する基盤を形成することにある。

研修方法は、研修期間の2年間で各診療科をローテートする事を原則とする。

研修達成目標は、下記の通りである。

- (1) 志望領域に関わらず、全ての医師に求められる各科における基礎的診断・治療のための技能を修得する。
- (2) 患者の問題を医学的のみでなく、心理的・社会的にとらえ、正しい医師・患者関係をもとに、医療に従事する態度を身につける。
- (3) 志望領域に関わらず、全ての医師に求められる各科における初期診療を行うための技能を修練する。具体的には、
 - ① 緊急患者の問診・診察を迅速・確実に行い、必要な場合には生命維持に必要な救急処理ができる。
 - ② 問診・診察によって得られた情報をもとに、初期診断を下し、初期治療計画（他医療機関への転送も含む）を立てて実施できる。
- (4) 他の医師および医療メンバーと協調して診療を行う習慣を身につける。

研修2年目では引き続き複数の診療科をローテートする以外に、協力施設にて地域医療の分野においても研修することも可能なプログラムとした。

本プログラムの基幹病院である土谷総合病院は、内科・外科系疾患の診療や各種救急医療を主体に発足・発展し、地域の要望に応じて各種の高度の診断・治療施設、診療科等の新設・増設を図り、「総合病院」として第2次及び第3次救急医療をも実践する地域の中核的医療機関となっている。

また、関連施設としての阿品土谷病院では、高齢者医療及び在宅医療をも実践している。さらに、中島土谷クリニックでは血液透析患者やCAPD患者の外来診療を中心に在宅医療をも行い、人間ドックや健康診断を中心に健康管理も実践している。

したがって、臨床研修医にとって、全診療科に互る幅広い診療経験とともに、救急医療やプライマリ・ケア、予防医療、及び高齢者に対する医療についても十分な臨床研修を習得し得るプログラムとなっている。

Ⅲ. プログラム指導者と参加施設

① プログラムの指導者

医療法人あかね会 土谷総合病院 院長 望月 高明

② 基幹病院とその関連施設

1) 基幹病院：土谷総合病院

広島県広島市中区中島町 3 番 30 号 TEL (082) 243-9191

病床数・・・394 床 医師数・・・59 名

診療科：心臓血管センター（循環器内科、心臓血管外科、小児科）、内科、
消化器内科、呼吸器内科、血液内科、内分泌内科、外科、整形外科、
脳神経外科、リウマチ科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、
皮膚科（創傷ケアセンター）、放射線科、肛門科、麻酔科

2) 関連施設：a. 阿品土谷病院

広島県廿日市市阿品 4 丁目 51 番 1 号 TEL (0829) 36-5050

病床数・・・219 床 医師数・・・7 名

診療科：内科、循環器科、外科、整形外科、泌尿腎科、神経内科、
放射線科、リハビリテーション科

指導責任者 今津 通教

b. 中島土谷クリニック

広島県広島市中区中島町 3 番 25 号 TEL (082) 542-7272

医師数・・・5 名

診療科：内科、婦人科、泌尿器科、外科、神経内科、放射線科

指導責任者 森石 みさき

c. 医療法人せのがわ 瀬野川病院（325 床）

広島県安芸区中野東 4 丁目 11 番 13 号 TEL (082) 892-1055

指導責任者 魚住 徹

精神科患者および統合失調症の治療において、お互いに連携を取りながら
行う事とし、研修においても同様に連携を取りながら行う。

d. 医療法人社団おると会 浜脇整形外科病院（160 床）

広島県中区大手町 4 丁目 6-6 TEL (082) 240-1166

指導責任者 浜脇 純一

整形外科の領域の充実を図る目的で、お互いに連携を取りながら行う。

③ プログラムに参加する施設とその規模の概要

1) 土谷総合病院（一般病院、病床数 394 床）

広島市周辺の郡・市・町村及び瀬戸内海の島嶼部を含めた人口約 150 万人の地域を診察
圏とし、下記の診療科と診断・治療施設を有し、第 2 次・第 3 次救急医療をも実践する中
核的医療機関として地域医療に貢献している。

- a. 診療科：心臓血管センター（循環器内科、心臓血管外科、小児科）、内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、内分泌内科、外科、整形外科、脳神経外科、リウマチ科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科（創傷ケアセンター）、放射線科、肛門科、麻酔科

b. 診断・治療施設

- 1.中央手術部門（一般手術室 6室）
- 2.血液浄化・透析センター（47床）
- 3.放射線診断部門（全身用CT（1）、MRI（1）、DSA（1）、心血管撮影（3）、一般撮影（1）、X線TV（1））
- 4.消化管診断部門（各種内視鏡・超音波診断装置、カラードップラー診断装置）
- 5.循環器診療部門（カラードップラー、トレッドミル、経食道心エコー、ホルター心電図、DSA、シネアングリオ）
- 6.泌尿器診断部門（体外衝撃波結石破碎装置）
- 7.集中治療部門（ICU室 8床、CCU室 4床、NICU 15床）
- 8.臨床検査部門（一般生理学検査、血液・生化学検査）
- 9.臨床病理部門（解剖室 1室、病理組織検査室 1室）

c. 専門医教育病院等学会の指定状況

地域周産期母子医療センター、腎研究会透析療法従事職員実習指定病院
CAPD 教育研修医療機関、日本透析医学会医専門医制度認定施設
日本腎臓学会認定研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本循環器学会指定関連施設、日本循環器専門医研修施設、
日本インターベンション学会認定施設、日本内科学会認定内科専門医教育関連病院
日本超音波学会認定超音波専門医制度研修施設、日本胸部外科学会指定施設
日本消化器外科学会専門医修練施設、日本麻酔科学会専門医指導施設
日本整形外科学会認定研修施設、日本手の外科学会認定基幹研修施設
日本周産期・新生児医学会専門医制度指定研修施設
日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設、母体保護法指定医師研修機関
日本小児循環器学会専門医制度修練施設、内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設
日本皮膚科学会専門医研修施設

2) 研修施設群

- a. 阿品土谷病院（病床数 219 床、うち療養病床 219 床）

広島県廿日市市阿品 4 丁目 51-1（TEL 0829-36-5050）にあり、土谷総合病院の関連施設として、内科、外科等を主体とした療養型の医療を実施することにより地域医療に貢献している。

指導責任者 今津 通教

- b. 中島土谷クリニック

広島県広島市中区中島町 6-1（TEL 082-542-7272）

診療所として各種外来診療の他、透析センター(透析コンソール 160 台)と

健診センターを附属し、透析治療および健康診断を中心とした予防のための医療をすすめている。

指導責任者 森石 みさき

c. 医療法人せのがわ 瀬野川病院 (325 床)

広島県安芸区中野東 4 丁目 11 番 13 号 TEL (082) 892-1055

当院は、精神科が無い為に、精神科患者に対する治療を瀬野川病院と連携を取りながら行い、特に統合失調症の研修において、同様に連携を取りながら行う。

指導責任者 魚住 徹

d. 医療法人社団おると会 浜脇整形外科病院 (160 床)

広島県中区大手町 4 丁目 6-6 TEL (082) 240-1166

整形外科の領域の充実を図る目的で、お互いに連携を取りながら行う。

指導責任者 浜脇 純一

④ 指導責任者及び指導医数

1) 基幹病院

土谷総合病院		指導責任者	指導医数
内科	消化器	荒滝 桂子	1
	呼吸器	井原 義尚	1
	循環器	塩出 宣雄	1
	腎臓	川西 秀樹	1
外科	一般外科	杉野 圭三	1
	心臓血管	望月 高明	1
	整形外科	木森 研治	1
	麻酔科	和泉 博通	1
	救急	塩出 宣雄	循環器指導責任者と兼任
	産婦人科	小田 博宗	1
	小児科	田原 昌博	1
	放射線科	佐藤 友保	1
	臨床病理	嶋本 文雄	1

2) 関連施設

阿品土谷病院	指導者責任者	指導医数
地域医療(療養医療)	今津 通教	1

中島土谷クリニック	指導責任者	指導医数
地域医療(在宅医療)	森石 みさき	1

瀬野川病院	指導責任者	指導医数
精神科	魚住 徹	14

浜脇整形外科病院	指導責任者	指導医数
整形外科	浜脇 純一	7

IV. プログラムとその管理運営

下記の構成委員による土谷総合病院研修委員会を、毎年4月の病院幹部職員を含む定期集会及び、必要に応じての臨時集会として開催し、毎年度及びその年度の研修評価、プログラムの実施状況及び問題点等の検討を行う。それに基づいてプログラムを協議、計画を立て、必要な修正を行う。また、研修医数、各科における研修期間、研修の評価、要望など、臨床研修に関連する諸事項についても協議する。研修プログラムの内容は、年度ごとに再検討して承認を得るとともに、その内容は研修プログラムとして公表し、研修希望者に配布する。

土谷総合病院研修委員会名簿

委員長	川西 秀樹	副院長 兼 人工臓器部 主任部長	外科	東京医科大学昭和 50 年卒 広島大学医学部臨床教授 日本透析医学会理事、指導医、専門医・ 日本腎臓学会指導医、専門医・日本外科学会指導医、専門医・日本消化器外科学会認定医・日本人工臓器学会評議員・日本急性血液浄化学会理事・日本アフェレシス学会評議員・日本医工学治療学会評議員・日本腹膜透析学会評議員・日本HDF研究会理事長・腎不全外科研究会幹事・日本アクセス研究会理事・身体障害者福祉法指定医
副委員長	望月 高明	院長 兼 心臓血管外科 主任部長	外科	広島大学昭和 45 年卒 日本冠疾患学会理事・日本冠動脈外科学会評議員・広島循環器病研究会世話人・広島心臓手術手技研究会世話人・日本胸部外科学会指導医・日本胸部外科学会指導医・日本外科学会指導医・日本外科学会指導医・日本心臓血管外科学会専門医
委員	杉野 圭三	副院長 兼 外科 主任部長	外科	広島大学 昭和 53 年卒 広島大学医学部医学科臨床教授 日本外科学会指導医、専門医、認定医・日本消化器外科学会指導医、専門医、認定医・日本透析医学会専門医・日本がん治療認定医機構暫定教育医・消化器がん外科治療認定医・内分泌甲状腺外科専門医・日本内分泌外科学会評議員・日本臨床外科学会評議員・日本甲状腺外科学会評議員・中国四国

外科学会評議員

委員	塩出 宣雄	循環器内科 部長	内科	広島大学 昭和 62 年卒 日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会指導医、頸動脈ステント指導医、身体障害者福祉法指定医
委員	小田 博宗	産婦人科 主任部長	産婦人科	弘前大学昭和 51 年卒 日本産科婦人科学会専門医、指導医・日本母体保護法指定医
委員	木森 研治	整形外科 部長	整形外科	広島大学 昭和 56 年卒 日本整形外科学会専門医・日本手の外科学会専門医・日本リウマチ学会専門医・日本リハビリテーション医学会専門医・日本体育協会公認スポーツドクター・日本手の外科学会評議員・日本マイクロサージャリー学会評議員・国際マイクロサージャリー学会会員・広島手の外科研究会世話人・広島肩関節研究会世話人
委員	田原 昌博	小児科 医長	小児科	広島大学 平成 8 年卒 日本小児科学会専門医・日本小児循環器学会専門医制度暫定指導医・日本周産期新生児医学会専門医・新生児蘇生プログラムインストラクター
委員	荒滝 桂子	消化器内科 部長	消化器科	広島大学 昭和 63 年卒 日本内科学会認定内科医・日本消化器病学会指導医・日本肝臓学会認定肝臓専門医・日本消化器内視鏡学会専門医
委員	井原 義尚	呼吸器内科 部長	呼吸器科	昭和大学 昭和 59 年卒 日本内科学会専門医・日本呼吸器学会専門医・身体障害者福祉法指定医
委員	佐藤 友保	放射線科 部長	放射線科	広島大学大学院 平成 1 年卒 日本医学放射線学会認定放射線科専門医・日本核医学会認定核医学専門医、PET核医学認定医・日本IVR学会認定IVR専門医・精中委認定マンモグフィー読影医・第一種放射線取扱主任者・X線作業主任者・ガンマ線透過写真撮影作業主任者

委員	和泉 博通	麻酔科 部長	麻酔科	広島大学 昭和 60 年卒 麻酔科標榜医・日本麻酔学会指導医・ 日本ペインクリニック学会専門医
委員	今津 通教	阿品土谷病院 院長		広島大学大学院 昭和 52 年卒 日本循環器学会認定専門医・日本内科学 会認定医
委員	森石 みさき	中島土谷クリニック 院長		北里大学 昭和 56 年卒 日本透析医学会指導医、専門医・日本腎臓 学会指導医、専門医・日本内科学会認定医
委員	魚住 徹	瀬野川病院 顧問		日本救急医学会指導医
委員	浜脇 純一	浜脇整形外科病院 院長		整形外科学会専門医
委員	岸 悦三	広島修道大学 名誉教授		外部委員
委員	佐々木 誠	事務長		事務部門の責任者

V. 定員

各年次 2名（両年次の収容定員 4名）

VI. 研修カリキュラム

(1) 研修内容と到達目標

研修内容は、厚労省の発表している「臨床研修の到達目標」を達成することを目的として定めた。原則的には、単に専門分野の疾患を治療するのみではなく、全科的な救急医療、プライマリー・ケアを研修できる様に配慮した。各診療科における研修内容は下記の通りである。

診療科	主な研修内容	
内科	消化器	消化器疾患の医療
	呼吸器	呼吸器疾患の医療
	循環器	循環器疾患の医療
	腎臓	腎臓病、とくに透析などの人工臓器に係わる医療
外科	一般外科	各種外傷、腹部・消化器などの外科診療
	心臓血管	胸部・心臓血管外科などの医療
救急	各種救急患者・重症患者の治療、救急蘇生法等の研修、重症患者の管理	
麻酔科	各種麻酔法、呼吸・循環管理法等の研修、疼痛外来での医療	
産婦人科	各種産婦人科疾患、産科・分娩等の医療	

小児科	各種乳児・新生児・小児疾患、小児の救急医療など
精神科	各種精神・神経疾患、心療内科・精神医療などの研修
地域医療	病院医療と在宅医療の連携を図り、地域を基盤とした高齢者医療とリハビリテーションの研修。高齢者の慢性疾患、認知症、各種機能不全症に対する医療、予防医学、健康管理
放射線科	各種X線・CT・MRI・各部血管造影・DSAなどによる各科画像診断法
整形外科	各種外傷、骨・筋・神経疾患などの医療
臨床病理	病理組織検査、剖検

(2) 研修期間の配分

◎ 1年次研修スケジュール (例)

循環器 内科	救急	腎臓 内科	消化器 内科	一般 外科	心臓血管 外科
2ヶ月	3ヶ月	2ヶ月	2ヶ月	2ヶ月	1ヶ月

◎ 2年次研修スケジュール (例)

心臓血管 外科	麻酔	選択必須	地域医療	選択科目1	選択科目2	自由選択
1ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	1ヶ月

※ 選択必修は、産婦人科・小児科・精神科より1科目を選択すること。(1ヶ月)

選択科目1・選択科目2は、希望する専門領域を土谷総合病院内で実施できる診療科より研修することができる。

定期的に到達目標の状況を把握し、不足している部分については、自由選択で研修を行う。研修医は、希望する研修スケジュール(研修科目と研修期間を記載したもの)を選択し、研修委員会に提出する。委員会の承認を得た後に研修は開始される。

(3) 研修医の配置と指導体制

研修委員会で承認されたプログラムに従い、研修医4名を各診療科に配置して研修させる。各診療科では各科部長(指導医)の責任において、臨床研修を行わせる。その際、各診療科では副主治医として患者の担当主治医を経験させる。

また、各診療科での通常研修以外に下記の研修も行う。

① 当直・日直研修

当直・日直勤務は、「副当直医」として当直医の指導のもとで行う。

原則として、週1回の勤務とする。

② 病理解剖研修

解剖は順番制で5件を終了するまで病理部門より呼び出す。

研修医は配属科での主たる勤務に重大な支障の無いかぎり、解剖を優先する。

1回の解剖につき、研修医2名を呼び出す。その際、解剖患者の診療に関与していた研修医がある場合には、その研修医を優先して呼び出す。

③ 緊急医療研修

研修医の学習に適した緊急、および頻度の少ない症例が発生したときは、全館放送で緊急コールを行う。配属科で研修中においても、優先して現場に急行する。

(4) 研修医の勤務時間

土谷総合病院の研修医の日勤の勤務時間は、他の職員と同様に午前8時30分から午後5時30分までとする。また、当直勤務は、「副当直医」として、当直医の指導のもとで、原則として週1回午後5時30分より翌日の午前8時30分までとする。

他に、受け持ち患者が重症になった時などは、病院内に指導医の指導のもとに宿泊(眠設備あり)することが必要となる。

休暇は、規定により与えられるが、担当患者の状況等により中止を余儀なくされたり、時期を変更される場合もある。

(5) 教育に関する行事

1) オリエンテーション講義

研修開始にあたり、最初の日約4時間「オリエンテーション講義」を行う。(講師は土谷総合病院研修委員会の委員長または委員の予定)

土谷総合病院の概要、沿革をはじめ、研修に関するガイダンス、研修予定の各診療科や病院各所の説明など、具体的諸事項に加えて、医師としての基本的態度、心構え、患者に対するマナー、チーム医療の重要性並びに保険診療の実際についてなど、医療の本質に関する講義を十分に行う。

2) カンファレンス、症例検討会、勉強会、回診など。

各科、各分野の症例検討、カンファレンス、勉強会、及び院長・部長回診に参加、積極的に討議を行う習慣を養う。

研修及び勉強・研究のための会合

名 称	回 数	開 催 日
土谷循環器病診連携カンファレンス	1	4月
虚血性心疾患講座	1	4月
シネカンファレンス	50	毎週月曜日
循環器抄読会、患者紹介	30	第2,3,4水曜日
インターベンションミニライブデモンストレーション	1	9月
放射線科抄読会	52	毎週火曜日
外科抄読会	50	毎週火曜日
部検症例検討会 (C P C)	2	部検後 不定期
外科カンファレンス	50	毎週火曜日
慢性透析症例検討会	45	毎週火曜日
透析入院症例検討会	45	毎週木曜日
人工臓器部抄読会	45	毎週火曜日
麻酔科英文論文抄読会	45	毎週金曜日
麻酔科症例カンファレンス	45	毎週月曜日
心臓血管外科術前検討会	45	毎週金曜日午後
心臓血管外科抄読会	12	毎月第1火曜日午後

消化器内科カンファレンス	50	毎週金曜日
食道静脈瘤勉強会	1	年1回不定期
肝炎・肝硬変・肝癌治療勉強会	1	年1回不定期
小児循環器カンファレンス	24	隔週水曜日
N I C Uカンファレンス	300	毎週月曜日から金曜日
N I C U症例検討会	2	2ヶ月に1回 不定期
小児エコーカンファレンス	50	毎週月曜日
小児科抄読会	50	毎週木曜日
広島小児循環器症例検討会	1	3ヶ月に1回 不定期
産婦人科カンファレンス	300	毎週月曜日から金曜日
産婦人科抄読会	24	隔週火曜日
産婦人科、小児科合同カンファレンス	50	1週間に1回

VII. 研修医評価方法

各科の研修修了時には、その到達目標の達成度を評価するために自己評価表を提出させる。
また、直接の指導医にその研修に関するレポートを併せて提出して評価を受ける。

2年終了時には、厚労省の「臨床研修の到達目標」の自己評価表も提出させる。尚、指導責任者は研修内容の記録及び評価を保存する。

VIII. プログラム修了の認定

2年間の初期臨床研修プログラム修了が土谷総合病院研修委員会で審査、認定されれば、病院長名で修了証書を授与する。

IX. プログラム修了後のコース

希望があれば、正規手続きのうえ常勤医としての採否を決定する。

X. 研修医の処遇

身 分・・・常勤（正規）職員

給 与・・・月給 1年次生 310,000円、 2年次 370,000円

賞与 夏 200,000円 冬 300,000円

（その他手当は、あかね会給与規則による 約50,000円）

宿泊施設・・・有（近隣に在る一人用の借上げマンションをあてる。入居料は無料とする。）

加入保険・・・雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金保険、医師賠償責任保険

XI. 資料請求先

〒730-8655 広島県広島市中区中島町3番30号

医療法人 あかね会 土谷総合病院

土谷総合病院研修委員会 委員長 川西 秀樹

TEL 082-243-9191

FAX 082-241-1865